

(様式第4号)

第2回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和4年5月18日 午後7時00分から午後7時45分まで
3 会場	武石地域自治センター3階 大会議室
4 出席者	雨宮委員、金井(修)委員、金井(律)委員、金子委員、川合委員、小坂委員、児玉(淳)委員、児玉(守)委員、小林委員、小山委員、近藤委員、桜井委員、芝野委員、城下委員、立岩委員、比田井委員、廣川委員、堀委員、松久委員 【欠席委員1名】
5 市側出席者	下村地域自治センター長、樋口地域振興課長、白鳥市民サービス課長、芳池産業建設課長、杉浦丸子・武石上下水道課長、若林武石教育事務所長、若木地域政策担当係長、鈴木地域担当、清水地域政策担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	2人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和4年5月23日

協 議 事 項 等

1 開会(副会長)

2 あいさつ(会長、センター長)

(センター長) 武石地域自治センターとして、この後令和4年度の事業概要を説明するが、いろいろな事業を計画している。今年度、武石地域が過疎地域に指定されたということで、今年は計画案を策定していく。この計画は武石地域の未来を占う大事な計画と捉えており、皆様からも貴重なご意見をいただきたい。その中でひとつ今年人生100年時代づくり・地方創生ソフト事業を活用し、様々なソフト事業を展開していく計画を立てている。様々なイベント等計画しているが、一つには武石地域の魅力を発信していくということで長野大学の学生と共同でいろいろな SNS 等を通じて情報発信をしてもらうような取り組みも始まっている。いろいろなソフト事業を今後展開していく考えなので皆様に情報提供していきながら事業を有意義に活用していく。

3 協議事項

(1) 第1回地域協議会協議内容の確認について(事務局説明)

・委員からの意見、質問なし

(2) 武石地域 当初予算等における主な施策について(各担当課長説明)

【質疑等】

(会長) 基金取崩とあるが、現在の基金の状況は。

(事務局) 持ち寄り基金だが、令和3年度末残高が2億900万程度、令和4年度で357万ほど取崩することにより4年度末で2億500万位の残金となる。

(3) 上田市過疎地域持続的発展市町村計画策定について(事務局説明)

【質疑等】

(委員) 計画策定の目的が武石地域とすると今後の人口減少を食い止めることが課題となっているとされておりその為にこの事業を行うということだと思うが、そのための事業が診療所の医師確保、診療所の医療機器の更新、スマートシティということで今後の人口減少を食い止められるのか、具体的な方策を

色々と考えていかないといけないと痛感した。このままでは武石地域そのものがなくなってしまう。今後の人口減少に対してどのように考えていったら増えていくのか、もしくは現状を維持できるのかを具体的な中身について納得のできるものになれば良いと考える。

(事務局) まだ素々案であり、細かい事業は今後検討していく。ご意見を参考にして今後の計画づくりにする。

(委員) 人口減少に対しどのようにしたら武石地域の人口を減らさないでいかれるか答えはないと思うが、素々案の中にこれから武石を背負っていく子どもに対しての施策が無いように思う。例えば依田窪南部中学校の給食費の扱いについて、長和町の生徒は無料に対し武石地域の生徒は無料になっていない。小さなことから良いので、これからの子どもたちが武石に住んでいてよかったと親も子どもも思えるような子育てに関することでお金が使えれば武石の人口が増えるのではなく、少しでも出ていく人が減って抑えられれば良いと思うがどのように考えるか。

(センター長) 給食費の問題については課題と考える。ただし、上田市全域の事を考えたところで施策としてどうしていくか含め検討していかなければいけない課題と考える。長和町ではそういったことを活用していることも聞いている。今後研究しながらできるだけ子育て支援にいくような施策を計画に盛り込んでいければと考える。素々案の中にあまりそういった文言が出ていないという指摘だが、子育て支援に対しては具体的には書かない計画にもなっているが違う表現になるかもしれないが内容を精査し盛り込んでいく。

4 その他

- ・委員からの意見、質問なし

① 第3回 地域協議会の日程について

日時：6月15日（水）午後7時～

場所：武石地域総合センター3階大会議室

5 閉会（副会長）